

会議録要点と概要	
会議の名称	令和元年度第3回長久手市平成こども塾運営委員会
開催日時	令和2年2月20日(木)午前9時から午前10時30分まで
開催場所	長久手市平成こども塾 丸太の家
出席者氏名	委員長 谷沢明 事務局 委員 伊藤稔明(職務代理者) みどりの推進課長 矢野克明 委員 筒井千穂 同課主幹 青山均 委員 青山裕子 同課専門員 福本将 委員 伊東江利子 委員 山崎隆志 委員 大野明永 委員 高橋雅樹
傍聴者人数	0人
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	【議事】 (1) 長久手市平成こども塾事業中間報告 (2) 令和2年度平成こども塾プログラム年間計画書(案)について (3) その他
問合先	長久手市建設部 みどりの推進課 長久手市平成こども塾 TEL 0561-64-0045
備考	

【議事要点】

1 報告事項

議題(1) 「長久手市平成こども塾事業中間報告」

→ 承認

2 審議事項

議題(2) 「令和2年度平成こども塾プログラム年間計画書(案)について」

→ 上記計画書(案)を承認

3 議題(3) 「その他」

→ なし

事務局（進行）：

議事に先立ち本委員会が、長久手市平成こども塾運営委員会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、過半数以上の出席があり、成立していることを報告します。

委員長：

それでは、議事に入ります。

議題(1) 「長久手市平成こども塾事業中間報告（案）」について事務局から報告していただきます。

事務局：

～ 報告 ～

※ 補足説明として、先日「こども塾だより3月号」と合わせて年間会員を募集する会員制プログラム案内「別冊」を発行したところです。その中で、ネイチャーゲームを含む専門プログラムについて予告をしました。これにより、少しでもネイチャーゲームを含む専門プログラムの参加希望者が増えることを期待しています。ちなみに、専門プログラム案内「別冊」の発行は、4月下旬を見込んでいます。

委員長：

只今、事務局から説明のありました内容について、御質問や御意見などがありましたら、御発言をお願いします。

委員：

事務局から予告をしていただきありがとうございました。

ネイチャーゲームに関しては、前回も申し上げましたとおり、昨年度16組の家族が参加されましたが、今年度は9家族と半減に近い状態でした。一方で参加についての意識は高く、雨の日でも積極的に参加されていました。しかし、それが全体に広まらないという状況にあります。また、幼児の同伴が9組中3組と高く、幼児参加の傾向は本市以外のプログラムにおいても増えてきている状況です。

委員長：

学校連携の参加者が多くなっているのは、児童数が増えているのが理由ですか。

事務局：

そのとおりです。また、児童数の増加に伴いクラス数も増えているので、実施回数が増えています。

委員長：

その他、御質問や御意見などがありましたら、御発言をお願いします。

委員長：

御質問や御意見などがないようですので、次に、議題(2)「令和2年度平成こども塾プログラム年間計画書(案)について」審議したいと思います。

事務局から説明願います。

事務局：

～ 説明 ～

※ 来年度からの大きな変更点としては、1点目にサポート隊事業の中で、「キッズ放送隊」の活動を休止することです。これは、キッズ放送隊の責任者について、仕事の都合で継続できなくなり、適切な後継者を選任することができなかつたため、やむなく休止となりました。2点目に、サポート隊創作班にサポート隊自主プログラムの一部(若杉氏が主体となって実施していたプログラム)を統合することです。これは、プログラムの区分を整理するためです。

委員長：

只今、サポート隊の枠組みの変更や平成こども塾での新規事業等の説明がありました。事務局から説明のありましたこれらの内容について、ご審議をお願いします。

特にご意見がないようですので、議題(2)についてお認めいただきますようお願いいたします。

次に、議題(3)「その他」についてですが、何かありますか。

事務局：

ありません。

委員長：

議題(3) その他については、なしとします。

議事は、これで終了します。

※ このあと、小学校連携プログラムの見学を行い解散した。